

全国保育士養成セミナー

関 係 資 料

昭和55年度 ～ 令和6年度
(1980 年度 ～ 2024 年度)

1. 開催記録
2. 主題一覧
3. 講演一覧
4. シンポジウム・パネルディスカッション一覧
5. 分科会テーマ一覧

1. 開催記録

年度	月 日	会 場	担当ブロック (実行委員長)	参加者 (参加校)
昭和 55 年度 (1980)	9 月 25 日・26 日・27 日	神奈川県・箱根小涌園	関 東	
56 年度 (1981)	9 月 24 日・25 日・26 日	静岡県・湯河原厚生年金会館	関 東	217 (122)
57 年度 (1982)	9 月 20 日・21 日・22 日	三重県・鳥羽小涌園	中 部	196 (120)
58 年度 (1983)	9 月 6 日・7 日・8 日	奈良県・奈良県文化会館小ホール	近 畿	229 (144)
59 年度 (1984)	11 月 5 日・6 日・7 日	群馬県・水上町藤屋ホテル	関 東	221 (141)
60 年度 (1985)	9 月 4 日・5 日・6 日	島根県・玉造国際ホテル	中・四国	213 (138)
61 年度 (1986)	11 月 12 日・13 日・14 日	大分県・別府ホテル白菊	九 州	238 (138)
62 年度 (1987)	9 月 16 日・17 日・18 日	北海道・洞爺湖ホテル万世閣	北 海 道	213 (125)
63 年度 (1988)	10 月 19 日・20 日	宮城県・仙台ガーデンパレス	東 北 (稲瀬 正夫)	314 (159)
平成元年度 (1989)	10 月 18 日・19 日・20 日	東京都・アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	関 東 (田中 未来)	417 (192)
2 年度 (1990)	10 月 16 日・17 日	愛知県・愛知県中小企業センター	中 部 (川村 科子)	396 (187)
3 年度 (1991)	9 月 13 日・14 日	京都府・佛教大学	近 畿 (花田 順信)	437 (202)
4 年度 (1992)	10 月 7 日・8 日	愛媛県・松山東雲短期大学	中・四国 (木戸 賢一)	400 (190)
5 年度 (1993)	10 月 8 日・9 日	福岡県・西南学院大学	九 州 (佐々木元賢)	482 (217)
6 年度 (1994)	10 月 19 日・20 日	北海道・拓殖大学北海道短期大学	北 海 道 (石川 武)	416 (200)
7 年度 (1995)	10 月 20 日・21 日	宮城県・東北福祉大学	東 北 (稲瀬 正夫)	487 (223)
8 年度 (1996)	9 月 21 日・22 日	東京都・大妻女子大学	関 東 (大場 幸夫)	552 (244)
9 年度 (1997)	10 月 23 日・24 日	愛知県・ウィルあいち	中 部 (石崎 寛)	549 (225)
10 年度 (1998)	9 月 24 日・25 日	兵庫県・聖和大学 聖和大学短期大学部	近 畿 (西垣 二一)	621 (241)

(注) 昭和 63 年度 (1988) より全国保母養成セミナーは全国保母養成協議会研究大会と同時期開催となる。

年度	月 日	会 場	担当ブロック (実行委員長)	参加者 (参加校)
11 年度 (1999)	9 月20日・21日	岡山県・就実短期大学	中・四国 (中谷 和子)	653 (240)
12 年度 (2000)	10月18日・19日	福岡県・北九州八幡ロイヤルホテル	九 州 (宇城 照耀)	548 (244)
13 年度 (2001)	9 月26日・27日	北海道・札幌市教育文化会館 ロイトン札幌	北 海 道 (南部 U・シズ子)	568 (237)
14 年度 (2002)	9 月18日・19日	青森県・青森市文化会館 ホテル青森	東 北 (辻 昭子)	645 (257)
15 年度 (2003)	9 月24日・25日	神奈川県・箱根湯本富士屋ホテル	関 東 (小館 静枝)	649 (275)
16 年度 (2004)	10月20日・21日	愛知県・名古屋市民会館・ 名古屋都市センター・グランコート名古屋	中 部 (中垣 洋一)	768 (282)
17 年度 (2005)	9 月28日・29日	大阪府・都ホテル大阪 ホテルアウィーナ大阪	近 畿 (倉戸 直実)	871 (308)
18 年度 (2006)	9 月 8 日・ 9 日	広島県・広島郵便貯金ホール 安田女子短期大学	中・四国 (吉野 昌昭)	926 (334)
19 年度 (2007)	9 月12日・13日	鹿児島県・城山観光ホテル	九 州 (石田 忠彦)	895 (345)
20 年度 (2008)	9 月24日・25日	北海道・函館国際ホテル ロワジュールホテル函館	北 海 道 (水落 敏博)	787 (325)
21 年度 (2009)	9 月 9 日・10日	宮城県・東北福祉大学	東 北 (渡辺 信英)	954 (356)
22 年度 (2010)	9 月15日・16日	山梨県・甲府富士屋ホテル 山梨学院短期大学 ほか	山 梨 県 (三神 敬子)	858 (348)
23 年度 (2011)	9 月 7 日・ 8 日	富山県・富山県民会館 富山国際会議場	中 部 (小芝 隆)	1,041 (359)
24 年度 (2012)	9 月 5 日・ 6 日	京都府・京都文教大学 京都文教短期大学 ホテルグランヴィア京都	近 畿 (伏見 強)	1,119 (380)
25 年度 (2013)	9 月 4 日・ 5 日	香川県・サンポートホール高松 かがわ国際会議場	中・四国 (玉置 忠徳)	1,043 (372)
26 年度 (2014)	9 月17日・18日	福岡県・ホテルニューオータニ 博多他	九 州 (大元 千種)	1,029 (368)
27 年度 (2015)	9 月21日・22日	北海道・ロイトン札幌 札幌市教育文化会館	北 海 道 (武井 昭也)	1,010 (356)
28 年度 (2016)	8 月24日・25日	岩手県・盛岡市民文化ホール 「マリオス」いわて県民情報 交流センター「アイーナ」他	東 北 (千葉 正)	942 (337)
29 年度 (2017)	9 月 1 日・ 2 日・ 3 日	千葉県・聖徳大学 聖徳大学短期大学部	関 東 (阿部 和子)	1070 (363)

(注) 平成11年度(1999)より「全国保育士養成セミナー」に改称。

年度	月 日	会 場	担当ブロック (実行委員長)	参加者 (参加校)
30年度 (2018)	9月14日・15日・16日	岐阜県・長良川国際会議場 岐阜都ホテル	中 部 (田中 亨胤)	860 (352)
令和元年度 (2019)	8月29日・30日	兵庫県・神戸ポートピアホテル	近 畿 (長瀬 莊一)	789 (349)
2年度 (2020)	9月18日・19日	オンライン開催 (岡山県・川崎医療福祉大学)	中・四国 (橋本 勇人)	834 (303)
3年度 (2021)	9月16日・17日	オンライン開催 (宮崎県・宮崎学園短期大学)	九 州 (宗和 太郎)	714 (282)
4年度 (2022)	8月25日・26日	オンライン開催 (北海道・旭川大学短期大学部)	北海道 (佐藤 貴虎)	611 (248)
5年度 (2023)	9月2日・3日	オンライン併催 (宮城県・東北福祉大学)	東 北 (渡辺 信英)	656 (278)
6年度 (2024)	8月29日・30日	千葉県・幕張メッセ国際会議場	関 東 (西山 薫)	508 (265)

2. 主題一覧

昭和 55 年度 (1980)	80年代に向けての保母養成
昭和 56 年度 (1981)	人間をみつめる
昭和 57 年度 (1982)	より質の高い保育者の養成をめざして
昭和 58 年度 (1983)	転換期をむかえた保母養成
昭和 59 年度 (1984)	転換期に立つ保母養成
昭和 60 年度 (1985)	保母養成教育のあり方を求めて
昭和 61 年度 (1986)	保育者養成をより確かなものに
昭和 62 年度 (1987)	保育ニーズ多様化への対応
昭和 63 年度 (1988)	保育者養成のいっそうの充実をめざして ー保育者の資質向上とカリキュラムの課題ー
平成 元年度 (1989)	保育制度の変革と保育者養成のあり方
平成 2 年度 (1990)	90年代の保育者養成を考える ー新しい保育所保育指針と保育者養成のあり方ー
平成 3 年度 (1991)	保母養成の新しい展開を求めて
平成 4 年度 (1992)	保母養成の新しい歩み
平成 5 年度 (1993)	保母養成の今日的課題とはなにか
平成 6 年度 (1994)	制度変革期における保母養成
平成 7 年度 (1995)	日本における保母養成 ーその現状と未来ー
平成 8 年度 (1996)	21 世紀にむけた保育者養成の展望 ー保育ニーズの原点を問うー
平成 9 年度 (1997)	21 世紀に向けた保母養成の課題 ー社会の変化、保育ニーズの多様化から問うー

平成 10 年度 (1998)	21 世紀における保母養成の充実を求めて
平成 11 年度 (1999)	21 世紀を担う保育士養成の課題と展望
平成 12 年度 (2000)	新時代の保育士養成 ―2000 年からの展開―
平成 13 年度 (2001)	新世紀の保育ニューフロンティア ―新保育士養成カリキュラムの求めるもの―
平成 14 年度 (2002)	子ども文化変容期の保育士養成 ―いま、あらためて子どもの生活をみつめる―
平成 15 年度 (2003)	『21 世紀を“児童の世紀”に』として迎える
平成 16 年度 (2004)	次世代育成支援時代にあらためて問われる保育の原点 ―子どもの最善の利益を支える保育士の養成を目指して―
平成 17 年度 (2005)	子育て・子育ての変容と保育士養成 ―変わりゆくこと、変わらないこと―
平成 18 年度 (2006)	激動期における保育を見つめて ―今、あらためて保育士養成を問う―
平成 19 年度 (2007)	子どもの未来を拓く、これからの保育士養成 ―地域における保育士養成の役割―
平成 20 年度 (2008)	変わり行く時代の中での保育士養成 ―改定 保育所保育指針とは―
平成 21 年度 (2009)	保育士養成におけるキー・コンピテンシー ―確かな実践力の育成に向けて―
平成 22 年度 (2010)	地球環境の未来と保育者養成教育 ―教育内容を振り返り、深めるために―
平成 23 年度 (2011)	保育者養成校教員の責務と資質 ―子どもの健やかな育ちのために―
平成 24 年度 (2012)	生きるということ ‘今’ 改めて問う ―響きあうところ 生かしあういのち―
平成 25 年度 (2013)	幼保一体化に向けての保育者（士）養成―いま一度、子どもの育ちの視点から―
平成 26 年度 (2014)	未来社会への参画 ―保育者養成校としての使命を問い直す―
平成 27 年度 (2015)	新制度と保育の「新」と「真」 ―保育の原点から考える 変わりゆくこと、変わらないこと―
平成 28 年度 (2016)	保育士養成のアフォーダンス

平成 29 年度	こども・生きる・あそぶ
(2017)	－子どもの最善の利益を保障する保育者－
平成 30 年度	保育新時代における保育者養成
(2018)	－子どもと保育者、共に豊かな時を生きるために－
令和元年度	保育の質と人間形成への創造
(2019)	－守るべきこと・変わるべきこと－
令和 2 年度	保育士のキャリア支援と子どもの最善の利益
(2020)	
令和 3 年度	保育者養成校の存在意義を問う
(2021)	
令和 4 年度	こどもたちへ繋ぐ自然と文化、そして命
(2022)	
令和 5 年度	つながり
(2023)	
令和 6 年度	岐路に立つ保育士養成
(2024)	－近未来の保育と養成校の姿を考える－

3. 講演一覧

昭和 55 年度 (1980)	特別講演 地域の期待する福祉 阿部志郎（横須賀キリスト教社会館館長）
昭和 56 年度 (1981)	特別講演 人間を見つめる 田村一二（社会福祉法人大木会理事長）
昭和 57 年度 (1982)	特別講演 障害児保育の現状と将来の問題からみた保母養成 小林重雄（筑波大学教授）
昭和 58 年度 (1983)	特別講演 保育の原点をさぐる 三宅 廉（神戸市・パルモア病院院長）
昭和 59 年度 (1984)	特別講演 障害者のこころ 清水俊子（精神薄弱児施設わたらせ養護園園長）
昭和 60 年度 (1985)	特別講演 子どもの心・保育の心 吉村静枝（香川県坂出育愛館館長）
昭和 61 年度 (1986)	特別講演 こころ雑感 棕 鳩十（児童文学者）
昭和 62 年度 (1987)	特別講演 老人とは何だ失礼な 畑 宏明（養護老人ホーム普仁園園長・特別養護老人ホーム愛仁園園長）
昭和 63 年度 (1988)	特別講演 日本の中の東北文化 高橋富雄（文学博士・東北大学名誉教授・盛岡大学教授）
平成元年度 (1989)	基調講演 保育制度改革の動向 石井哲夫（日本社会事業大学教授） 保育者養成制度改革の動向 岡田正章（明星大学教授） 福祉専門職制度の動向 秋山智久（明治学院大学教授）
平成 2 年度 (1990)	基調講演 90年代の保育者養成を考える 枋尾 勲（厚生省児童家庭局母子福祉課保育指導専門官）
平成 3 年度 (1991)	行政説明 今後の保母養成のあり方 枋尾 勲（厚生省児童家庭局母子福祉課保育指導専門官） 特別講演 生きること死ぬこと 水上 勉（作家）
平成 4 年度 (1992)	特別講演 子規と漱石の友情 和田茂樹（文学博士・愛媛大学名誉教授・松山市立子規記念博物館館長）
平成 5 年度 (1993)	特別講演 なぜ、今、博多が面白いのか 尾石光治（博多であい・ふれあいネットワーク委員会副委員長）

平成 6 年度 (1994)	特別講演 働く女性の法律問題 保原喜志夫（法学博士・北海道大学法学部教授） 講演 これからの保育所制度と保母養成 柴田雅人（厚生省児童家庭局保育課長）
平成 7 年度 (1995)	講演 保育行政と保母養成 ―その現状と課題― 福井和夫（厚生省児童家庭局保育課長） 特別講演 郷土玩具にみる日本の子育て 白橋宏一郎（医学博士・東北福祉大学教授・国立仙台病院名誉院長）
平成 8 年度 (1996)	講演 保育行政と保母養成 ―その現状と課題― 鈴木岩雄（厚生省児童家庭局保育課保育指導専門官） 基調講演 学ぶということ 佐伯 胖（東京大学大学院教授） 特別講演 ポリネシアの家族と子ども 馬場優子（大妻女子大学教授）
平成 9 年度 (1997)	特別講演 徳川美術館と日本文化 徳川義宣（徳川美術館長） 講演 保育行政の展望 小林和弘（厚生省児童家庭局保育課長） 基調講演 児童福祉法の改正とこれからの保母養成の課題 石井哲夫（本協議会副会長・中央児童福祉審議会委員・白梅学園短期大学学長）
平成 10 年度 (1998)	講演 児童福祉法の改正と保育行政の展望 小林和弘（厚生省児童家庭局保育課長） 特別講演 保母養成の岐路を思う ―その過去と未来― 待井和江（大阪社会事業短期大学名誉教授）
平成 11 年度 (1999)	講演 保育行政の展望と保育士養成の課題 清水美智夫（厚生省児童家庭局保育課長） 特別講演 違いは財産 菅波 茂（AMDA代表・医療法人アスカ会・社会福祉法人遊々会理事長） 基調講演 福祉専門職、ことに保育士に期待するもの 江草安彦（医学博士・川崎医療福祉大学学長・社会福祉法人旭川荘理事長）
平成 12 年度 (2000)	講演 保育行政の展望と保育士養成について 小西哲郎（厚生省児童家庭局保育課保育指導専門官） 特別講演 遺伝子から生命を考える 関口睦夫（理学博士・福岡歯科大学教授・九州大学名誉教授）
平成 13 年度 (2001)	講演 保育行政の課題と展望 高井康行（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局保育課長） 特別講演 夜の鶴 正富宏之（理学博士・専修大学北海道短期大学教授）

- 平成 14 年度
(2002) 講演 保育行政の課題と展望
高井康行（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局保育課長）
特別講演 保育における父性原理の復権
梶田叡一（文学博士・京都ノートルダム女子大学学長）
- 平成 15 年度
(2003) 講演 保育行政の課題と展望
角田雄三（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局保育課保育指導専門官）
基調講演 エレン・ケイの夢：新しい世紀を“児童の世紀”に
荒井 洸（白鷗大学女子短期大学部教授）
- 平成 16 年度
(2004) 講演 少子社会と保育
角田雄三（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局保育課保育指導専門官）
基調講演 子育て支援体制づくりを
清水 司（前本協議会会長・東京家政大学理事長）
- 平成 17 年度
(2005) 講演 保育の動向と課題
為石摩利夫（厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐）
基調講演 いのちを支える
柏木哲夫（金城学院大学学長・大阪大学名誉教授・淀川キリスト教病院名誉
ホスピス長）
特別講演 優しさとしての文化 ―大阪の笑いの底にあるもの―
木津川計（立命館大学 産業社会学部教授）
- 平成 18 年度
(2006) 講演 保育の現状と課題
為石摩利夫（厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐）
基調講演 激動期の保育から将来を展望する
無藤 隆（白梅学園大学・短期大学学長）
- 平成 19 年度
(2007) 講演 保育行政の動向と課題
原田真紀子（厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐）
基調講演 保育現場から保育士養成に望むこと
藤岡佐規子（全国保育士会元会長）
特別講演 天障院篤姫について
寺尾美保（尚古集成館学芸員）
- 平成 20 年度
(2008) 講演 保育行政の動向と課題 ―保育所保育指針の改定を中心に―
天野珠路（厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課保育指導専門官）
特別講演Ⅰ 漂泊者啄木と北海道
桜井健治（日本近代文学会会員、財団法人北海道文学館評議員）
特別講演Ⅱ 我が追分人生 ―天空の遥かかなたにある追分の真髄を求めて―
青坂 満（江差追分会副会長、江差追分会上席師匠等）

平成 21 年度 (2009)	講 演 保育行政の動向と課題 今里 讓 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長) 基調講演 これからの保育者の専門的資質とその育成 秋田喜代美 (東京大学大学院教授) 特別講演 子どもの脳を育む 川島隆太 (東北大学加齢医学研究所教授)
平成 22 年度 (2010)	講 演 保育行政の動向と課題 今里 讓 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長) 特別講演Ⅰ 保育士の「自分育ての自己評価」を考える ー保育士養成に関わって 石井哲夫 (社会福祉法人日本保育協会理事長) 特別講演Ⅱ 人間ってなんだろう 中沢新一 (多摩美術大学芸術人類学研究所所長、同大学美術学部芸術学科教授)
平成 23 年度 (2011)	講 演 保育行政の動向と課題 鈴木義弘 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐) 基調講演 子ども・子育て新システム時代の保育者養成 汐見稔幸 (白梅学園大学・白梅学園短期大学学長) 記念講演 あったか地域の大家族 ー富山型デイサービスの 18 年ー 惣万佳代子 (NPO 法人デイサービスこのゆびとーまれ理事長)
平成 24 年度 (2012)	講 演 保育行政の動向と課題 鈴木義弘 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐) 基調講演 異文化コミュニケーションを保育に活かす ー多文化共生の可能性ー ジェフ バーグラント (京都外国語大学教授) 特別講演 生きることの大切さ ー前向きの姿勢ー 千 玄室 (裏千家前家元大宗匠)
平成 25 年度 (2013)	講 演 保育行政の動向と課題 南 新平 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課幼保連携推進室長) 基調講演 新システムのもとでの保育者養成 小川博久 (東京学芸大学名誉教授) 特別講演 奉仕・接待・布施 檜原 禅澄 梶下 (総本山善通寺第 57 世法主、真言宗善通寺派管長)
平成 26 年度 (2014)	講 演 保育行政の動向と課題 南 新平 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課幼保連携推進室長) 基調講演 未来社会への参画 ーいま子どもたちが満たすべきは何かー 渡部達也 (NPO 法人ゆめ・まち・ねっと代表)

- 平成 27 年度 講 演 保育行政の動向と課題
(2015) 楠目 聖 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課企画官)
基調講演 保育への新たなアプローチ：「進化保育学」
小泉英明 (株式会社日立製作所フェロー、公益社団法人日本工学アカデミー副会長)
- 平成 28 年度 講 演 保育行政の動向と課題
(2016) 鎮目健太 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課保育指導専門官)
基調講演 保育環境のアフォーダンス ―空気、地面、壁、散らばる物、そして出来事
佐々木正人 (東京大学大学院教育学研究科教授)
特別講演 教育に「エビデンス」を
中室牧子 (慶応義塾大学准教授)
- 平成 29 年度 講 演 保育行政の動向と課題
(2017) 鎮目健太 (厚生労働省子ども家庭局保育課保育指導専門官)
基調講演 「遊びを中心とした保育」再考
～遊びをどう理解し、援助するか～
川邊貴子 (聖心女子大学教授)
特別講演 幼児に学ぶいのちの遊戯^{ゆけ}
玄侑宗久 (福聚寺住職)
- 平成 30 年度 講 演 保育行政の動向と課題
(2018) 鎮目健太 (厚生労働省子ども家庭局保育課保育指導専門官)
基調講演 保育保健面でこれからの保育士に期待すること
五十嵐隆 (国立成育医療研究センター理事長)
特別講演 想像するちから ―チンパンジーが教えてくれた人間の心―
松沢哲郎 (理学博士、京都大学高等研究院・特別教授、京都大学霊長類研究所・兼任教授)
- 令和元年度 講 演 保育行政の動向と課題
(2019) 高辻千恵 (厚生労働省子ども家庭局保育課保育指導専門官)
基調講演 がんになっても笑顔で育つ
楠木重範 (チャイルド・ケモ・クリニック院長)
特別講演 人生における笑い
桂米團治 (落語家、上方落語協会副会長)
- 令和 2 年度 講 演 保育行政の動向と課題
(2020) 鎮目健太 (厚生労働省子ども家庭局保育課保育指導専門官)
基調講演 新保育の心もち：育ち合う保育者を支えるために
秋田喜代美 (東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長)
特別講演 人に寄り添う革新的「サイバニクス」最前線
山海嘉之 (筑波大学教授、CYBERDYNE 株式会社代表取締役社長/CEO)
対談：汐見稔幸 (東京大学名誉教授、全国保育士養成協議会会長)

令和3年度 (2021)	講演 保育行政の動向と課題 高辻千恵（厚生労働省子ども家庭局保育課保育指導専門官） 基調講演 児童福祉法改正以降の保育者および保育者養成校に期待すること 藤林武史（西日本こども研修センターあかし 企画官）
令和4年度 (2022)	講演 保育行政の動向と課題 高辻千恵（厚生労働省子ども家庭局保育課保育指導専門官） 基調講演① 学ぶことは生きること～病気のある子どもになぜ教育が必要なの？～ 副島賢和（昭和大学大学院保健医療学研究科准教授、昭和大学附属病院内学級担当） 基調講演② 保育士に期待することー医療の世界から改めて考えるー 田中康雄（こころとそだちのクリニックむすびめ院長、北海道大学名誉教授） 特別講演 伝えるのは命、繋ぐのは命 坂東 元（旭川市旭山動物園園長・獣医師・ボルネオ保全トラストジャパン理事）
令和5年度 (2023)	講演 こども家庭庁における保育行政の動向と課題 鎮目健太（こども家庭庁 成育局 保育政策課 教育・保育専門官／成育基盤企画課 保育指導専門官） 基調講演 つながりあう保育 秋田喜代美（学習院大学 教授）
令和6年度 (2024)	講演 保育行政の動向と課題 荒牧美佐子（こども家庭庁 成育局 保育政策課 教育・保育専門官／成育基盤企画課 保育指導専門官） 基調講演 私たちのつくる社会と保育の果たす役割についてー官民での経験を通じてー 伊藤貴紀（株式会社かえで 経営企画部長）

4. シンポジウム・パネルディスカッション一覧

昭和 55 年度 (1980)	パネル・ディスカッション 保母養成における人間教育をどうするか 司 会 吉田宏岳 (同朋大学) パネラー 中村健二 (鉄道弘済会福祉センター弘済学園) 田中未来 (白梅学園短期大学) 岡部 茂 (高知女子大学保育短期大学) 杉本一義 (龍谷大学短期大学部)
昭和 56 年度 (1981)	パネル・ディスカッション 保育者の専門性 ー人間理解を中心としてー 司 会 井上 肇 (倉敷市立短期大学) パネラー 久保田浩 (白梅学園短期大学) 宮下俊彦 (日本福祉大学) 広本 肇 (静岡県・前精神薄弱者更生施設東京苑) 藤田照子 (東京都・厚生館保育園)
昭和 57 年度 (1982)	パネル・ディスカッション 保育者の人間性と専門性 司 会 桑 幸男 (名古屋市立保育短期大学) パネラー 田中未来 (白梅学園短期大学) 土方康夫 (日本福祉大学) 待井和江 (四篠啜学園女子短期大学) 本吉圓子 (東京都世田谷区立桜保育園)
昭和 58 年度 (1983)	パネル・ディスカッション 転換期を迎えた保母養成 司 会 待井和江 (四篠啜学園女子短期大学) パネラー 三浦喜多治 (旭川福祉専門学校) 三神敬子 (山梨学院短期大学) 和田治子 (南海保育専門学校) 吹田盛徳 (華頂短期大学)
昭和 59 年度 (1984)	パネル・ディスカッション 転換期に立つ保母養成 司 会 南雲元女 (前橋育英学園短期大学) パネラー 斎藤 謙 (青山学院女子短期大学) 小館静枝 (小田原女子短期大学) 井上 肇 (倉敷市立短期大学) 西村駿一 (別府大学短期大学部)
昭和 60 年度 (1985)	パネル・ディスカッション 保母養成教育のあり方を求めて ー時代の要請にこたえるためにー 司 会 井上 肇 (倉敷市立短期大学) パネラー 田中未来 (白梅学園短期大学) 勝山晶子 (京都保育専門学院) 岡田正章 (宝仙学園短期大学) 澤 文治 (島根県立島根女子短期大学)
昭和 61 年度 (1986)	パネル・ディスカッション 保育者養成をより確かなものに 司 会 志賀達一 (鹿児島女子短期大学) パネラー 林田和男 (光塩学園女子短期大学) 網野武博 (日本総合愛育研究所) 民秋 言 (白梅学園短期大学) 岩城富美子 (西南学院大学)

昭和 62 年度 (1987)	パネル・ディスカッション 保育ニーズ多様化への対応 司 会 安藤忠吉 (国学院女子短期大学) パネラー 野々川輝一 (旭川大学女子短期大学部) 内堀玉男 (宮城学院女子短期大学) 待井和江 (四篠啜学園女子短期大学) 井上 肇 (倉敷市立短期大学)
昭和 63 年度 (1988)	パネル・ディスカッション 保育者養成のいっそうの充実をめざして ー保育者の資質向上とカリキュラムの課題ー 司 会 福土忠夫 (光星学院八戸短期大学) パネラー 内堀玉男 (宮城学院女子短期大学) 田中未来 (白梅学園短期大学) 斎藤 謙 (青山学院女子短期大学) 糸 幸男 (名古屋市立保育短期大学)
平成元年度 (1989)	シンポジウム 今後の保育者養成教育の展望 司 会 倉戸直実 (浪速短期大学) シンポジスト 大場幸夫 (大妻女子大学) 民秋 言 (白梅学園短期大学) 吉村真理子 (松山東雲短期大学)
平成 2 年度 (1990)	パネル・ディスカッション 90年代の保育者養成を展望する 司 会 倉戸直実 (浪速短期大学) パネラー 山崎美貴子 (明治学院大学) 藤岡佐規子 (光沢寺保育園) 糸 幸男 (名古屋市立保育短期大学)
平成 3 年度 (1991)	シンポジウム 保母養成の新しい展開をもとめて ーこれからの保育現場との連携はどうあるべきかー 司 会 萬代慎逸 (頌栄短期大学) シンポジスト 側恒雄二 (三光塾) 小林 一 (きりしま保育園) 大和正克 (西院保育園) 大嶋恭二 (東洋英和女学院短期大学)
平成 4 年度 (1992)	シンポジウム 保母養成の新しい歩み ー保母養成教育課程の構造的把握ー 司 会 井上 肇 (倉敷市立短期大学) シンポジスト 朽尾 勲 (厚生省児童家庭局母子福祉課保育指導専門官) 山下素子 (東京都渋谷区立千駄ヶ谷保育園) 糸 幸男 (名古屋市立保育短期大学)
平成 5 年度 (1993)	シンポジウム 保母養成の今日的課題とは何か 司 会 糸 幸男 (名古屋市立保育短期大学) シンポジスト 野澤正子 (大阪府立大学・本協議会専門委員) 長谷川重夫 (東京・東京育成園園長) 廣本 肇 (東京・つるかわ学園園長) 大浦純平 (福岡・つばみ保育園園長) 真野絹代 (福岡・玉川保育園主任保母)

平成 6 年度 (1994)	シンポジウム 制度変革期における保母養成 司 会 石田一彦 (尚絅女学院短期大学教授・本協議会専門委員) シポジスト 庄司洋子 (立教大学社会学部教授) 矢部幸子 (北海道旭川・頌栄保育園主任保母) 湯浅民子 (北海道生田原・ひまわり学園園長) 福川須美 (駒沢女子短期大学助教授・本協議会専門委員)
平成 7 年度 (1995)	シンポジウム 「日本における保母養成ーその現状と未来ー」 司 会 川口彰義 (愛知県立女子短期大学教授) シポジスト 斎藤信子 (仙台市堤保育所主任) 福島一雄 (共生会希望の家施設長) 佐藤俊昭 (東北福祉大学教授) 大場幸夫 (大妻女子大学教授)
平成 8 年度 (1996)	シンポジウム 保育ニーズの原点を問う：誰がための「保育ニーズ」か 司 会 朝倉陸夫 (関東学院短期大学教授) シポジスト 松岡俊彦 (淵野辺保育園園長) 飯田雅子 (精神薄弱児施設弘済学園園長) 小坂和夫 (郡山女子大学助教授) 繁多 進 (白百合女子大学教授)
平成 9 年度 (1997)	ラウンドテーブル 阪神大震災報告 シンポジウム 21 世紀に向けた保母養成校像を問う 司 会 近藤正春 (名古屋短期大学教授) シポジスト 北口美貴子 (洛陽女子高等学校教頭) 杉田喜美子 (岡崎市立八帖保育園主任) 大野光彦 (湊川女子短期大学教授) 三枝教男 (キリスト教社会福祉専門学校保育科長) 大場幸夫 (大妻女子大学教授)
平成 10 年度 (1998)	シンポジウム 児童福祉法改正にともなう児童福祉施設の変容と保母養成の課題 司 会 坂本 敬 (平安女学院短期大学教授) シポジスト 石井 勲 (児童養護施設・信太学園園長) 大和正克 (京都市・西院保育所所長) 小澤 薫 (児童自立支援施設・東京都立誠明学園園長) 後藤昌彦 (藤女子短期大学教授)
平成 11 年度 (1999)	シンポジウム 保育士養成への提言 ー教育要領・保育指針改訂をとおして養成のあり方を問うー 司 会 小舘静枝 (小田原女子短期大学学長・本協議会理事) シポジスト 小田 豊 (文部省初等中等教育局幼稚園課視学官) 小西哲郎 (厚生省児童家庭局保育課保育指導専門官) 山谷えり子 (サンケイリビング編集長)

平成 12 年度 (2000)	シンポジウム シンポジウム I	保育士養成校を問い直す ―新時代への新たな展開を求めて― 司 会 保田井進 (福岡県立大学学長) シポジスト 柏女霊峰 (淑徳大学教授) 岡本富郎 (白梅学園短期大学教授) 佐藤俊昭 (東北福祉大学教授)
	シンポジウム II - A	多様な保育ニーズと保育者の役割 ―保育士養成の視点から― 司 会 甲斐 彰 (福岡県立大学教授) シポジスト 山田真理子 (九州大谷短期大学教授) 小林育子 (聖セシリア短期大学教授) 山本和美 (平安女学院短期大学教授)
	シンポジウム II - B	養成課程における教職員の意識の共通化 ―保育実習を中心に― 司 会 三村保子 (西南女学院短期大学教授) シポジスト 伊東安男 (建昌保育園園長) 倉戸直実 (大阪芸術大学短期大学部教授) 金子進之助 (別府大学短期大学部教授)
平成 13 年度 (2001)	シンポジウム 新保育士養成カリキュラムの求めるもの	司 会 朽尾 勲 (立正大学教授) シポジスト 石井哲夫 (白梅学園短期大学学長) 無藤 隆 (お茶の水女子大学教授) 千葉智正 (弘前学院大学教授) 岡本侑子 (山鼻保育園園長)
平成 14 年度 (2002)	シンポジウム 子ども文化変容期の保育士養成 ―いま、あらためて子どもの生活をみつめる―	司 会 渡辺信英 (東北福祉大学教授) シポジスト 森下みさ子 (聖学院大学助教授) 足立智昭 (宮城学院女子大学教授) 山縣文治 (大阪市立大学助教授)
平成 15 年度 (2003)	シンポジウム 保育実践と施設経営 ―その現実と課題―	司 会 籠 光夫 (千葉明德短期大学学長) シポジスト 松島栄一 (千葉楨の木学園施設長) 加賀美尤祥 (山梨立正光生園施設長・日本社会事業大学教授) 山崎淳一 (千葉若竹保育園園長) 大塚兼司 (保育センターこどもの木かけ所長・ 玉成保育専門学校副校長)
	カレントトピックス 『変わりゆく保育所』 蓬生君子 (広尾上宮保育園園長・前東京都社会福祉協議会保育部会部会長) 『難民としての子供たち』 峯村里香 (NGO 幼い難民を考える会事務局長)	
	イヴェニング・レクチャー 『韓国における保育者養成教育の現状』 李 基淑 (梨花女子大学校師範大学幼児教育科教授) 通 訳 金 瑛珠 (千葉明德短期大学)	
平成 16 年度 (2004)	シンポジウム 子どもの最善の利益を支える保育士の養成	司 会 林 陽子 (岡崎女子短期大学教授) シポジスト 森 静子 (前全国保育士会研修部副部長・関東短期大学助教授) 新澤誠治 (日本子ども NPO センター設立発起人・ 東京家政大学教授・元東京都私立保育園連盟会長) 林 寛子 (中日新聞名古屋本社文化部長) 近藤正春 (桜花学園大学教授・元本協議会専門委員)

平成 17 年度 (2005)	シンポジウム 隣接領域からみた社会や若者の変容 ーいまどきの若者像と保育士養成ー 司 会 加藤鉄三郎 (大阪キリスト教短期大学教授) コーディネーター 大橋喜美子 (神戸女子大学助教授) シンポジスト 櫻谷真理子 (立命館大学産業社会学部人間福祉学科教授) 天羽 薫 (精神科医・大阪体育大学健康福祉学部教授) 正高信男 (京都大学霊長類研究所認知学習分野比較行動学教授)
平成 18 年度 (2006)	シンポジウム 激動する保育界に求められる保育士養成 コーディネーター 森上史朗 (子どもと保育総合研究所代表) シンポジスト 角谷正雄 (金城幼稚園園長) 新納雅司 (親和保育園園長) 三橋謙一郎 (徳島文理大学人間生活学部児童学科教授) 山元喜久江 (広島乳児院院長)
平成 19 年度 (2007)	シンポジウム 保育士と保育士養成校は、どのように地域とつながるか コーディネーター 那須信樹 (中村学園大学短期大学部) 上野孝代 (鴨池保育園) シンポジスト 橋野智子 (鹿児島市健康福祉局南部保健センター) 広岡智子 (社会福祉法人子どもの虐待防止センター) 吉永陽一郎 (聖マリア病院育児療養科)
平成 20 年度 (2008)	シンポジウム 改定 保育所保育指針からみえる保育士養成とは コーディネーター 増田まゆみ (目白大学) シンポジスト 大場幸夫 (大妻女子大学) 柏女霊峰 (淑徳大学) 中山美知子 (財団法人鉄道弘済会旭川保育所)
平成 21 年度 (2009)	シンポジウム 保育士養成におけるキー・コンピテンシー ファシリテーター兼シンポジスト 秋田喜代美 (東京大学) シンポジスト 川島隆太 (東北大学) 北野幸子 (福岡教育大学)
平成 22 年度 (2010)	シンポジウム 子どもの“生きる”を見つめてー保育者養成教育のこれからを考えるー コーディネーター 荒井 洌 (白鷗大学) シンポジスト 伊藤亮子 (砧保育園) いわむらかずお (絵本作家) 加藤 健 (イント`登録非政府組織 HANDS TOGETHER Senior Vice President) 野原八千代 (聖徳大学短期大学部・小児科医)
平成 23 年度 (2011)	シンポジウム 保育士養成校教員の責務と資質 ー子どもの健やかな育ちのためにー コーディネーター 矢藤誠慈郎 (愛知東邦大学) シンポジスト 岩井恵澄 (社会福祉法人あいじ福祉会理事長・ 三日市保育所所長) 奥山千鶴子 (NPO 法人びーのびーの理事長・ NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長) 小沼 肇 (小田原女子短期大学学長)

平成 24 年度 (2012)	シンポジウム 子どものころとからだを育てる保育の“いま”“みらい” コーディネーター 大橋喜美子（神戸女子大学教授） シンポジスト 片岡滋夫（社会福祉法人柳辻福祉会理事長・柳辻保育園園長・ 社団法人 京都市保育園連盟 理事長） 山崎麻美（医学博士、独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター副院長） 戸江茂博（神戸親和女子大学教授）
平成 25 年度 (2013)	シンポジウム 子どもの育ちを保障するための保育者（士）養成とは？ コーディネーター 高杉 展（松山東雲女子大学教授） シンポジスト 荻原勝義（認定こども園はぎ保育園 園長） 高橋貴志（白百合女子大学准教授） 松浦浩樹（和泉短期大学准教授）
平成 26 年度 (2014)	シンポジウム 世界の保育ならびに保育者養成の潮流から我が国の保育者養成の今とこれから を読む コーディネーター 那須信樹（東京家政大学教授） シンポジスト 無藤 隆（白梅学園大学大学院教授） 北野幸子（神戸大学大学院准教授） 菱谷信子（精華女子短期大学副学長）
平成 27 年度 (2015)	シンポジウム 保育の原点から考える 変わりゆくこと、変わらないこと コーディネーター 相馬靖明（和泉短期大学 准教授） シンポジスト 大豆生田啓友（玉川大学 教授） 矢藤誠慈郎（岡崎女子大学 教授） 伊藤克実（札幌学院大学 教授）
平成 28 年度 (2016)	シンポジウム 保育士養成のアフォーダンスー明日への能動的コミットメントー コーディネーター 和田明人（東北福祉大学教授） シンポジスト 那須信樹（東京家政大学教授） 北野幸子（神戸大学大学院准教授） 井上孝之（岩手県立大学准教授） 指定討論者 網野武博（全国保育士養成協議会常務理事）
平成 29 年度 (2017)	シンポジウム こども・生きる・あそぶー子どもの最善の利益を保障する保育者ー シンポジスト 小島良之 (社会福祉法人寿会理事長・座間子どもの家保育園園長) 出口貴美子（出口小児科医院院長） 山崎美貴子（一般社団法人全国保育士養成協議会会長） 司 会 松浦浩樹（和泉短期大学副学長）
平成 30 年度 (2018)	シンポジウム 保育新時代における保育者養成 シンポジスト 小川清美（大妻女子大学教授） 津金美智子（名古屋学芸大学教授） 山縣文治（関西大学教授） 指定討論者 汐見稔幸（一般社団法人全国保育士養成協議会会長） 上村初美（全国保育士会会長） 司 会 浅野俊和（中部学院大学教授）

令和元年度 (2019)	シンポジウム 子どもを巡る環境と保育への挑戦
	シポジスト 荒木穂積（立命館大学大学院特任教授・同大学名誉教授） 猪熊弘子（ジャーナリスト 名寄市立大学特命教授） 楠木重範（チャイルド・ケモ・クリニック院長）
	コーディネーター 那須信樹（中村学園大学教授）
令和2年度 (2020)	鼎談 保育士のキャリア支援と子どもの最善の利益
	登壇者 大豆生田啓友（玉川大学教授） 門田理世（西南学院大学教授） 伊藤唯道（順正寺こども園園長）
	コメンテーター 小川清美（大妻女子大学教授、全国保育士養成協議会副会長）
令和3年度 (2021)	シンポジウム 保育現場との実質的な協働をめざすための保育者養成校の倫理とは ～「一般社団法人全国保育士養成協議会保育士養成倫理綱領」の策定を受けて～
	シポジスト 藤林武史（西日本こども研修センターあかし 企画官） 村松幹子（全国保育士会会長・たかくさ保育園園長） 宮島 祐（東京家政大学教授・小児科医） 鶴 宏史（武庫川女子大学教授）
	コーディネーター兼指定討論者 那須信樹（中村学園大学教授）
令和4年度 (2022)	実施せず
令和5年度 (2023)	鼎談 つながり
	講師 汐見稔幸（全国保育士養成協議会 会長） 無藤 隆（白梅学園大学 名誉教授） 秋田喜代美（学習院大学 教授）
令和6年度 (2024)	シンポジウム 「私」「仕事」「世の中」のつながりで考える保育士育成 ～コレクティブ・インパクトの視点から～
	シポジスト 松本理寿輝（まちの保育園・こども園 代表／JIREA代表 まちの研究所株式会社代表取締役） 伊藤貴紀（株式会社かえで 経営企画部長） 久保健太（大妻女子大学）
	コーディネーター 岡 健（大妻女子大学）

5. 分科会テーマ一覧

昭和 55 年度 (1980)	第 1 分科会	管理運営と施設設備・保育短期大学の運営と設備
	第 2 分科会	資格制度
	第 3 分科会	教育課程・保育者養成におけるゼミナール等のもち方について
	第 4 分科会	保育所保育と保育者養成・保育実践における保育内容系科目の検討
	第 5 分科会	施設養護と保育者養成・福祉系科目と関連科目について
	第 6 分科会	3 歳未満児保育と保育者養成・3 歳未満児の保育について・3 歳未満児保育の教科内容と関連科目について
	第 7 分科会	保育所実習
	第 8 分科会	施設実習
	第 9 分科会	学生指導と就職問題
昭和 56 年度 (1981)	第 1 分科会	管理運営
	第 2 分科会	教務・教務事務を円滑にすすめる方法について・カリキュラムの編成について
	第 3 分科会	教育課程Ⅰ（教育課程全般）・保母養成教育課程の改善をめざして・現行教育課程の問題点と養成課程の構造化にむけて
	第 4 分科会	教育課程Ⅱ（音楽系）・音楽リズム、リトミックなどの関連について・保母養成における音楽教育
	第 5 分科会	保育実習・保育実習の現状と効果的指導について
	第 6 分科会	学生指導・担任制・より充実した学生生活をおくらせる方法について
	第 7 分科会	就職指導・就職指導における問題点・就職指導の実態
昭和 57 年度 (1982)	第 1 分科会	管理運営
	第 2 分科会	教務・職員と教員との関係
	第 3 分科会	教育課程・保母養成教育課程の改訂をめざして
	第 4 分科会	保育内容
	第 5 分科会	保育実習・実習の展開方法
	第 6 分科会	就職指導
昭和 58 年度 (1983)	第 1 分科会	管理運営
	第 2 分科会	教育課程・特色ある保母養成と教育課程
	第 3 分科会	統合保育・統合保育の実践研究・統合保育における体育指導の人的条件
	第 4 分科会	保育内容
	第 5 分科会	保育実習・保母養成における施設実習の再検討
	第 6 分科会	学生指導・進路指導について・就職指導について
昭和 59 年度 (1984)	第 1 分科会	養成制度・コース別養成について・専攻科制度
	第 2 分科会	教育課程・現行と今後の教育課程について
	第 3 分科会	統合保育・障害児保育と統合保育・障害児理解と保育者養成の課題
	第 4 分科会	保育内容・保育内容総論の位置づけと内容
	第 5 分科会	保育実習・施設課題をどう乗り越えるか
	第 6 分科会	学生指導・進路指導について
昭和 60 年度 (1985)	第 1 分科会	養成制度
	第 2 分科会	教育課程Ⅰ　－福祉系を中心として－・老人福祉、地域福祉への対応
	第 3 分科会	教育課程Ⅱ　－保育内容を中心として－保育内容科目と技能科目との関連
	第 4 分科会	統合保育・障害児保育における統合保育の授業内容
	第 5 分科会	保育実習
	第 6 分科会	学生指導・就職指導の内容と方法

昭和 61 年度 (1986)	第 1 分科会	養成制度 I	－今後の養成制度－
	第 2 分科会	養成制度 II	－多様化への対応、外国の制度と教育課程－
	第 3 分科会	教育課程 I	－一般教育のあり方－
	第 4 分科会	教育課程 II	－専門教育のあり方－
	第 5 分科会	乳児保育	
	第 6 分科会	統合保育	
	第 7 分科会	学生指導	－専門委員会課題研究報告をふまえて－
昭和 62 年度 (1987)	第 1 分科会	養成制度	－婦人就労の動向への対応－
	第 2 分科会	教育課程 I	－保育所保母とカリキュラム構成－
	第 3 分科会	教育課程 II	－施設保母とカリキュラム構成－
	第 4 分科会	学生生活	－養成校の立場に立った学生指導－
	第 5 分科会	乳児保育	
	第 6 分科会	地域社会に対応する保母養成	
昭和 63 年度 (1988)	第 1 分科会	養成制度	－多様化への対応－
	第 2 分科会	教育課程 I	－保育所保母とカリキュラム構成－
	第 3 分科会	教育課程 II	－施設保母とカリキュラム構成－
	第 4 分科会	学生生活	－養成校の立場に立った学生指導－
	第 5 分科会	地域社会に対応する保母養成	
平成元年度 (1989)	第 1 分科会	保育制度の変革の中での保母養成校の組織運営	
	第 2 分科会	保母養成の教育課程改訂への取り組み(1)	
	第 3 分科会	保母養成の教育課程改訂への取り組み(2)	
	第 4 分科会	新しい保育の動向と保母養成校における保母養成内容研究(1)	
	第 5 分科会	新しい保育の動向と保母養成校における保母養成内容研究(2)	
	第 6 分科会	新しい教育課程の中での保育実習の位置づけ	
平成 2 年度 (1990)	第 1 分科会	保母養成の教育課程(1)	
	第 2 分科会	保母養成の教育課程(2)	
	第 3 分科会	保育内容の研究についての考え方	
	第 4 分科会	3 歳未満児の保育と保母養成	
	第 5 分科会	学生の変化と保母養成	
	第 6 分科会	保育ニーズの多様化と保母養成	
平成 3 年度 (1991)	第 1 分科会	保母養成教育課程	その 1. カリキュラムの構造
	第 2 分科会	保母養成教育課程	その 2. 保育内容
	第 3 分科会	保育ニーズの多様化と保母養成	その 1. 乳児保育
	第 4 分科会	保育ニーズの多様化と保母養成	その 2. 障害児保育
	第 5 分科会	保育ニーズの多様化と保母養成	その 3. 地域活動
平成 4 年度 (1992)	第 1 分科会	教育課程	第 I 分散会保母養成カリキュラムの構造 第 II 分散会保育内容 6 単位の構成 第 III 分散会保育内容、特に表現流域に注目して 第 IV 分散会多様化する保育・福祉ニーズに応えるためのカリキュラム
	第 2 分科会	保育実習	－養成校と実践現場での連携の視点に立って－
	第 3 分科会	就 職	－保育・福祉マンパワーの確保という社会的要請に応えるために－
	第 4 分科会	教員研修	－養成校教員の養成・研修と確保など－
	第 5 分科会	学生生活	－教務部・学生指導の連携－

平成5年度 (1993)	第1分科会	教育課程	第1分団	保母養成カリキュラムの構造
			第2分団	「保育内容」の構造と内容　－「健康」からの提案
			第3分団	「保育内容」の構造と内容　－「環境」からの提案
			第4分団	多様化する保育・福祉ニーズに応えるためのカリキュラム
	第2分科会	保育実習	第1分団	保育所実習
			第2分団	施設実習
第3分科会	学生生活・就職	第1分団	学生生活	
			第2分団	就職　－社会的要請に応える就職対策
第4分科会	教育研修	－養成校教員の育成・研修と確保など－		
第5分科会	保母養成校の管理運営			
平成6年度 (1994)	第1分科会	教育課程	第1分団	保母養成カリキュラムの構造
			第2分団	「保育内容」の構造と内容　－「言葉」からの提案
			第3分団	「保育内容」の構造と内容　－「人間関係」からの提案
			第4分団	多様化する保育・福祉ニーズに応えるためのカリキュラム
	第2分科会	保育実習	第1分団	保育所実習
			第2分団	施設実習
第3分科会	学生生活・就職	第1分団	学生生活	
			第2分団	就職　－社会的要請に応える就職対策
第4分科会	教員研修	－養成校教員の養成・研修と確保など－		
第5分科会	保母養成校の管理運営			
平成7年度 (1995)	第1分科会	教育課程	1) 保母養成カリキュラムの構造	
			2) 「養護と教育が一体」のためのコンセプト	
			3) 教科目「保育内容総論」の構造と内容	
			4) 保育内容の構造と内容　－「表現」からの提案	
			5) 「保育所保母」養成と「施設保母」養成のカリキュラム	
			6) 保育ニーズの多様化に応えるためのカリキュラム	
第2分科会	保育実習	1) 保育所における実習		
		2) 施設における実習		
第3分科会	学生生活と進路指導	1) 学生生活		
		2) 進路指導		
第4分科会	保母養成校教員の養成と研修			
第5分科会	保母養成校の管理運営			
平成8年度 (1996)	第1分科会	家族援助：事例を通して考える		
	第2分科会	子どもの権利：保育現場からのレポート		
	第3分科会	アジアの視点からみる保育の国際性		
	第4分科会	保育者の社会的地位の向上を求めて		
	第5分科会	実践研究の理念と方法を問い直す		
	第6分科会	子育てネットワーク：地域に貢献する養成校		
	第7分科会	養成校が担うリカレント教育		
	第8分科会	保育学生の実態から見た保育者養成		
	第9分科会	社会人への展望としての実習・就職		
平成9年度 (1997)	テーマ「21世紀を展望した保母養成」			
	第1分科会	保育ニーズの多様化と教育課程		
	第2分科会	国際理解教育と保母養成の課題		

- 第3分科会 子どもの権利と保母養成の課題
- 第4分科会 学生のニーズに応える授業改善・改革
- 第5分科会 保育実習の課題と指導
- 第6分科会 学生の進路選択の課題と指導
- 第7分科会 学生の生活・活動の現状と学生指導
- 第8分科会 保母養成と学校間の連携
- 第9分科会 地域に貢献する保母養成校の課題
- 第10分科会 保母養成校の管理運営

- 平成10年度
(1998)
- A. 児童福祉法改正と保母養成教育課程
 - A-1 保育所保育サービスと保母養成
 - A-2 保育内容と保母養成
 - A-3 地域子育て支援活動と保母養成
 - A-4 児童養護施設等の自立支援機能と保母養成
 - B. 児童福祉施設のなかの「子どもの権利」と保母養成
ー子どもの権利の実態と対応策を考えるー
 - C. 児童福祉施設のなかの国際性と保母養成
 - D. 保母の職業倫理・職業観の育成 ー誇りをもって保育に従事するためにー
 - E. 保母養成教育課程における保育実習
 - E-1 保育実習プログラムの検討
 - E-2 事前事後指導の検討
 - F. 保母養成における「授業（教授法）」研究
 - F-1 講義系科目の授業と指導法
 - F-2 実技系科目の授業と指導法
 - G. 保母養成校の管理・運営 ー養成校の近未来像を探るー
 - G-1 自己点検・自己評価の進め方
 - G-2 高等学校との連携・入学者選抜方法
 - G-3 卒後教育・公開講座等養成校の多機能化

- 平成11年度
(1999)
- A. 保育士養成教育課程
 - A-1 保育・福祉ニーズの多様化と教育課程
 - A-2 職業倫理・職業観の育成と教育課程
 - A-3 専攻科のあり方と教育課程
 - B. 保育実習
 - B-1 保育所における実習
 - B-2 施設における実習
 - C. 教授法の研究
 - C-1 講義系科目の授業と指導法
 - C-2 実技系科目の授業と指導法
 - C-3 演習系科目（ゼミ・卒業研究を含む）の授業と指導法
 - D. 学生の生活と進路
 - D-1 学生生活
 - D-2 就職・進学
 - E. 養成校の管理・運営
 - E-1 自己点検・自己評価の進め方
 - E-2 高等学校との連携
 - E-3 卒後教育・公開講座等養成校の多機能化
 - F. 保育士養成における人権と国際理解
 - F-1 子どもの権利と保育士養成
 - F-2 ジェンダーと保育士養成
 - F-3 保育の国際化と国際理解教育

- 平成12年度
(2000)
- A. 保育士養成のあり方
 - A-1 保育ニーズの多様化と養成のあり方

- A-2 養成校における特色ある養成のあり方
- B. 養成校における教科研究 ―その教育内容をめぐって―
 - B-1 保育の理念・本質・対象の理解に関する教科目
 - B-2 保育の内容・方法に関する教科目
 - B-3 保育内容のための専門的知識と技能に関する教科目
- C. 保育実習
 - C-1 事前事後指導と実習指導体制
 - C-2 保育実習施設との連携
- D. 学生生活と進路指導
 - D-1 青年期と学生生活
 - D-2 進路指導
- E. 養成校の役割と今日的課題
 - E-1 卒後教育・リカレント教育
 - E-2 高等学校との連携
 - E-3 子育て支援等への養成校の新しい役割
 - E-4 地域における養成校の役割と今日的課題
- F. 保育士養成における人権擁護と異文化理解
 - F-1 子どもの人権擁護と保育士養成
 - F-2 異文化理解教育と保育士養成

平成 13 年度
(2001)

- A. 保育士養成のあり方
 - A-1 保育ニーズの多様化と養成のあり方
 - A-2 養成校における特色ある養成のあり方
 - A-3 保育士養成システムの再検討
- B. 新保育士養成教育課程の展開と課題
 - B-1 新教育課程におけるカリキュラム編成のあり方
 - B-2 保育の本質・目的・対象の理解に関する科目
 - B-3 保育の内容・方法の理解に関する科目
 - B-4 基礎技能に関する科目と総合演習
- C. 保育実習・新教育課程における実習システムの展開と課題
 - C-1 新教育課程における実習システムの展開と課題
 - C-2 事前事後指導と実習指導体制 ―保育所実習を中心に―
 - C-3 事前事後指導と実習指導体制 ―施設実習を中心に―
- D. 学生生活と進路指導
 - D-1 青年期と学生生活
 - D-2 進路指導
- E. 保育士養成における今日的課題
 - E-1 子どもの人権擁護と保育士養成
 - E-2 異文化理解教育と保育士養成
 - E-3 子育て支援等への養成校の新しい役割

平成 14 年度
(2002)

- A. 保育士養成校の課題と展開
 - A-1 保育士養成校の近未来像 ―保育情勢をみつめた保育士養成校の運営―
 - A-2 保育士養成校教職員の研修のあり方
―全国保育士養成協議会による研修を中心に―
- B. 保育士養成課程
 - B-1 カリキュラム編成とその後 ―カリキュラム改訂後の実践と展望―
 - B-2 保育士と他職種の専門領域との関連 ―保育士の役割と他職種との連携―
- C. 保育実習
 - C-1 養成校と実習施設の実習指導 ―保育所実習を中心に―
―養成校と実習施設の役割・分担、連携体制の構築―
 - C-2 養成校と実習施設の実習指導 ―施設実習を中心に―
―養成校と実習施設の役割・分担、連携体制の構築―
- D. 学生生活と進路指導

- D－1 青年期と学生生活
 - －今日的学生の理解と、社会性育成の援助・指導の方法－
- D－2 進路指導
 - －就職・編入学活動支援の方法と、就職・編入学関係の情報交換－
- E. 子どもをめぐる今日的課題と保育士養成
 - E－1 子どもの権利擁護と保育士養成
 - －子どもの人権と、権利擁護事業の展開に向けて－
 - E－2 集団の中で気になる子どもの発達臨床と保育士養成
 - －子どもの理解と、保育技術の育成－
 - E－3 子育て支援と保育士養成
 - －子育て支援に関する保育士の役割と養成校のあり方－

- 平成 15 年度
(2003)
- A. 保育士養成課程の大綱化と養成校の独自性
 - B. 保育士養成教育と子育て家庭支援
 - C. 保育士養成校が直面する課題
 - D. 保育スーパーバイザーの養成課題
 - E. 学童保育への対応
 - F. 保育士の現任研修とリカレント教育
 - G. 保育士養成校におけるFD問題
 - H. 保育所第三者評価と養成校の課題
 - I. 保育士養成における「異文化理解」に関する取り扱いについて

- 平成 16 年度
(2004)
- A. 保育士養成校の課題
 - B. 保育士養成課程－改定保育士養成課程の検証－
 - C－1. 保育実習について考える（1） カリキュラムの工夫と事前・事後指導の工夫
 - C－2. 保育実習について考える（2） 実習施設と養成校との連携
 - C－3. 保育実習について考える（3） 近接他専門職の実習から学ぶ
 - D－1. 青年期の学生指導・進路指導（1） 就職指導とその後
 - D－2. 青年期の学生指導・進路指導（2） 青年期の心身に関わる諸問題
 - E－1. 次世代育成支援時代と保育士養成（1） 養成カリキュラムの工夫
 - E－2. 次世代育成支援時代と保育士養成（2） 学生の生活実態から
 - F. 国際理解教育と保育士養成
 - G. 現任研修と養成校の課題
 - H. 保育所・児童福祉施設との連携

- 平成 17 年度
(2005)
- A－1. 保育士養成の課題
 - A－2. 養成教育の課題と展望
 - B－1. 保育士養成課程を考える（1）
 - －子どもへの共感的理解と受容的かわりを実現する力の養成を考える－
 - B－2. 保育士養成課程を考える（2）
 - －地域・家族援助の理解を深める養成を考える－
 - B－3. 保育士養成課程を考える（3）
 - －保育実践を深める養成を考える－
 - C－1. 保育実習（保育所実習）
 - －実習を取り巻く諸条件の変化を踏まえた実習指導の在り方－
 - C－2. 保育実習（施設実習）
 - －実習を取り巻く諸条件の変化を踏まえた実習指導の在り方－
 - D－1. 青年期の学生支援・進路支援（1）
 - －混迷する現代社会と多様化する学生－
 - D－2. 青年期の学生支援・進路支援（2）
 - －現代の学生に対し求められる進路支援は何か－
 - E. 子どもの権利をめぐる問題から保育士養成を考える

- 平成 18 年度
(2006)
- A－1. 保育士養成の課題
 - A－2. 保育士養成校の現状と展望
 - B－1. 保育士養成課程の深化を目指して（1）
 - －実践記録を用いた知の再構築－

- B－2．保育士養成課程の深化を目指して（2）
－子育てや保育をめぐる父母・家庭・家族・地域社会のエンパワメント－
- B－3．保育士養成課程の深化を目指して（3）
－保幼小の連携－
- C－1．保育実習の充実に向けて（1）
－保育所実習の本質的課題－
- C－2．保育実習の充実に向けて（2）
－施設実習の本質的課題－
- D－1．保育士養成校で学ぶ学生の成長と専門性
－教養教育の意義と課題－
- D－2．保育士の成長と専門性
－養成から現職教育を見通したキャリア開発－
- E．子どもの権利と保育士養成
－支援の意味から保育の専門性を問う－

- 平成 19 年度
(2007)
- A－1．保育士養成の課題と展望
 - A－2．保育士養成課程の現状と課題
 - B－1．保育実習
－保育所実習の事前事後指導の深化と実習評価のあり方－
 - B－2．保育実習
－施設実習の事前事後指導の深化と実習評価のあり方－
 - C．学生支援
 - D．地域における保育士養成の役割
 - E．保育士のキャリア発達
 - F．子どもの最善の利益と保育士養成
 - G．保育士養成のための F D・S D の取り組み
 - H．新任者特別分科会
－新任の先生方と保育士養成を考える－

- 平成 20 年度
(2008)
- A－1．保育士養成の課題と展望
 - A－2．保育士養成教育課程の課題と現状
 - B－1．保育所実習に求められるものは何か
 - B－2．施設実習に求められるものは何か
 - C－1．養成校における学生支援－新しい学生指導の理論と展開－
 - C－2．今学生に求められる進路支援とは
 - D．現職教育の現状と課題
 - E．次世代育成支援における養成校の役割
 - F．専門委員会課題研究
 - G．新任者特別分科会

- 平成 21 年度
(2009)
- A．保育士養成校のマネジメント
 - A－1 保育士養成の省察と今後の展望
 - A－2 時代認識と管理運営
 - B．保育士養成カリキュラムとキー・コンピテンシー
 - B－1 新・保育士養成課程
 - B－2 反省的实践家としての保育士とカリキュラム
 - B－3 教科教育・教授法
 - C．保育士養成の実際の側面とキー・コンピテンシー
 - C－1 実習教育 A（保育所実習）
 - C－2 実習教育 B（施設実習）
 - C－3 キャリア支援
 - C－4 リカレント教育・現任保育士研修と保育士養成
 - C－5 保護者支援と保育士養成
 - C－6 特別な支援を必要とする子どもの保育と保育士養成
 - D．保育士養成校の教員に求められる力量とその形成
 - D－1 保育士養成校教員としての新任者研修
 - D－2 保育士養成校教員のキー・コンピテンシー

- 平成 22 年度
(2010)
- A．保育士養成校のマネジメント
 - A－1 保育士養成の省察と今後の展望
 - A－2 時代認識と管理運営
 - B．保育士養成カリキュラムとキー・コンピテンシー
 - B－1 新・保育士養成課程

- B-2 反省的实践家としての保育士とカリキュラム
- B-3 教科教育・教授法
- C. 保育士養成の实际的側面とキー・コンピテンシー
 - C-1 実習教育A（保育所実習）
 - C-2 実習教育B（施設実習）
 - C-3 キャリア支援
 - C-4 リカレント教育・現任保育士研修と保育士養成
 - C-5 保護者支援と保育士養成
 - C-6 特別な支援を必要とする子どもの保育と保育士養成
- D. 保育士養成校の教員に求められる力量とその形成
 - D-1 保育士養成校教員としての新任者研修
 - D-2 保育士養成校教員のキー・コンピテンシー

- 平成 23 年度
(2011)
- A. 保育をめぐる今日的課題と保育者養成
 - 1 幼保一体化とこれからの保育者養成
 - 2 保育者の専門性の向上と保育者養成校の役割
 - 3 保育現場と協働する保育者養成一組織としての教育力向上をめざしてー
 - B. 保育者養成教育の向上
 - 4 新保育士養成課程の展開と課題
 - 5 子ども理解に関わる教科目の意義と授業実践
 - 6 子育て支援に関わる教科目の意義と授業実践
 - 7 保育の内容・方法に関わる教科目の意義と授業実践
 - 8 造形表現系教科目の意義と授業実践
 - 9 音楽表現系教科目の意義と授業実践
 - 10 身体表現系教科目の意義と授業実践
 - 11 言語表現系教科目の意義と授業実践
 - 12 保育所実習の意義と展開
 - 13 施設実習の意義と展開
 - 14 学生支援の課題と方法
 - 15 保育者養成校教員の研究と教育

- 平成 24 年度
(2012)
- A. 養成校の課題と展望
 - 1 幼保一体化とこれからの保育士養成
 - 2 養成校と保育現場の協働 保育士の育ちのサポート
 - B. 保育士養成課程
 - 3 新カリキュラム展開の課題 新カリキュラム施行から1年ーみえてきた課題ー
 - 4 保育士養成と表現芸術科目（音楽・造形・身体表現・言葉）
 - 5 特色ある教育活動（行事・ボランティア・課外活動）
 - C. 保育実習
 - 6 保育所実習と実習指導
 - 7 施設実習と実習指導
 - D. 学生支援
 - 8 キャリア・サポート（就業・進路支援）
 - 9 学業サポート
 - E. 保育現場の今日的課題
 - 10 気になる子どもと関わる保育士 特別な支援を必要とする子どもとの関わり
 - 11 子どもの命を守るー保護者対応・子育て支援ー
 - F. 新任教員の課題
 - 12 保育士養成校教員に求められるもの
 - G. 特別分科会
 - 13 被災者（児）支援 危機管理・地域連携

- 平成 25 年度
(2013)
- A. 養成校の課題と展望
 - 1 保育者養成のマネジメント 組織とカリキュラム

- 2 保育者養成のための協働
- 3 幼保一体化への対応
- B. 養成プログラムの展開
 - 4 「新しい保育」への対応 在宅保育を中心に
 - 5 保育者養成と表現活動
 - a 造形
 - b 身体表現（劇・言葉を含む）
 - c 音楽
- C. 保育現場の今日的課題対応
 - 6 「気になる子ども」へ対応する力
 - 7 子どもの命を守る
- D. 実習
 - 8 保育所実習と実習指導 連携づくりと学生の育ち
 - 9 施設実習と実習指導 連携づくりと学生の育ち
- E. 学生支援
 - 10 保育者養成校における学生支援 キャリア支援を中心に
 - 11 学力保証と入学者選抜
- F. 新任教員研修
 - 12 保育者養成校教員に求められるもの

平成 26 年度
(2014)

- A. 問題提起型分科会
 - ① 子ども・子育て支援新制度下における保育者養成を考える
 - ② 養成教育と保育者研修をつなぐ
 - ③ 専門委員会報告を深める
 - ④ 養成校教員に求められる理念と倫理を考える
- B. 情報共有型分科会
 - ⑤ 諸外国の保育及び保育者養成の動向と課題について
 - ⑥ アクティブ・ラーニングとラーニングコモンズをめぐる取組について
 - ⑦ 科学的根拠に基づく保育実践を支える保育者養成について
 - ⑧ 保育実践力の養成を目指した保育者養成について
 - ⑨ 多職種協働による保育実践を支える保育者養成について
 - ⑩ 児童養護と児童擁護を支える保育者養成について
 - ⑪ 保育所実習事後指導とその後の教科目指導との連携について
 - ⑫ 施設実習事後指導とその後の教科目指導との連携について
- C. ワークショップ型分科会
 - ⑬ 臨床美術を体感する
 - ⑭ ワールド・カフェ的「ラベルワーク」を体感する

平成 27 年度
(2015)

- A. 養成校の課題と展望
 - ① 子ども・子育て支援新制度下における保育者養成を考える
 - ② 専門委員会報告を深める ー学生の自己成長感を保障する保育実習指導のあり方ー
 - ③ 保育者養成の今日的意義 ー変わりゆくこと、変わらないことー
 - ④ 保育者養成校教員に求められること（新任教員）
- B. 保育士養成課題
 - ⑤ 現カリキュラムの展望と課題 ー施行から4年 見えてきた課題と可能性ー
 - ⑥ 保育者養成における表現領域の意義
- C. 学生の自己成長感を育てる保育実習・学生支援
 - ⑦ 実習指導 ー実習システムの再考（保育所を中心に）ー
 - ⑧ キャリア・サポート（就業・進路支援）
 - ⑨ 多様な学生への支援
- D. 保育の今日的課題
 - ⑩ 諸外国の保育から日本の保育を考える
 - ⑪ 保育士の専門性を問う

- 平成 28 年度
(2016)
- A. 問題提起型分科会
- ① 「保育教諭」時代を見据えた保育士養成の課題
 - ② 養成校教員としての資質向上に資する研修のあり方
 - ③ 各養成校における学内連携と自己成長感を向上させるグッド・プラクティスの取り組み（専門委員会報告を深める）
 - ④ 保育士のキャリアパスから見た保育士養成カリキュラムの検討
- B. 情報共有型分科会
- ⑤ 実習機能の充実を核とした保育士養成教育の検討
 - ⑥ 諸外国の動向から学ぶ保育士養成の新展開
 - ⑦ 多職種協働による保育実践を支える保育士養成
 - ⑧ 養成教育と保育士研修の連関
 - ⑨ 保育実践力を養成する授業方法 A
 - ⑩ 保育実践力を養成する授業方法 B
 - ⑪ 保育実践力を養成する授業方法 C
- C. 情報提供・学習型分科会
- ⑫ 保育士養成校教員としての基本の“き”を学ぶ
 - ⑬ 指針・要領について学ぶ
- 平成 29 年度
(2017)
- ア 保育士の専門性と保育者養成
- ①子どもの豊かな遊びを支える保育者の養成
 - ②子どもの貧困、児童虐待等の諸問題と保育者養成の課題
 - ③保育教諭の資質を見据えた保育者養成
 - ④施設職員（施設保育士）としての専門性を高める保育者養成
 - ⑤多職種協働による保育実践を支える保育者養成
 - ⑥子育て支援の多様化と保育士の専門性の課題
 - ⑦保育士の職能成長と研修に対する養成校の役割
- イ 保育士養成カリキュラムの課題と改善
- ⑧新指針を踏まえた保育士養成教育の課題（保育の目的・本質系）
 - ⑨新指針を踏まえた保育者養成教育の課題（対象の理解系・新指針連動型）
 - ⑩新指針を踏まえた保育者養成教育の課題（保育内容：乳児保育・養護内容・障害児保育系）
 - ⑪新指針を踏まえた保育者養成教育の課題（保育内容：表現系）
 - ⑫自己成長を促す保育実習指導と個別支援
 - ⑬教職保育実践演習の方法と課題
 - ⑭特色ある保育者養成への取り組み（教育課程・教育方法・FDの工夫）
- ウ 保育士養成の現代的課題
- ⑮保育専門職への意欲を高めるキャリア支援（継続テーマ）
 - ⑯多様な学生への支援の体制と方法
 - ⑰入学前教育・初年次教育の取り組み
 - ⑱諸外国の動向にみる保育者養成の動向と課題
 - ⑲保育士養成校教員に求められるもの（新任教員対象）
- 平成 30 年度
(2018)
- A. 保育者養成校の今日的課題
- ① 保育新時代の保育者の専門性と質保証を考える
 - ② 保育士養成課程と幼稚園教諭養成課程をめぐる課題を考える
 - ③ 諸外国の動向から新時代の保育者養成を展望する
- B. 保育者養成カリキュラムの工夫と展開
- ④ 新指針を踏まえて知識・実践力を身につける（子どもの保健・安全・食育）
 - ⑤ 新指針を踏まえて知識・実践力を身につける（乳児保育及び子育て支援）
 - ⑥ 新指針を踏まえて知識・実践力を身につける（障がい児保育・インクルーシブの社会）
 - ⑦ 新指針を踏まえて知識・実践力を身につける（保育表現の展開）
- C. 保育新時代の保育実習の展望と課題
- ⑧ 保育実習指導のあり方を考える—ミニマムスタンダードの意義と課題

- ⑨ 保育新時代における保育実習の多様性と可能性を探る
- ⑩ 施設職員としての専門性を高める施設実習のあり方を考える
- D. 保育者養成における学生支援を考える
 - ⑪ 保育者養成における修学支援—多様な学生への支援を考える
 - ⑫ 保育者養成教育と就職支援—学生のキャリア形成支援を考える
 - ⑬ 保育者養成教育と現場との協働—卒業後の支援を考える
- E. 保育新時代の保育者養成校教員の責務を考える
 - ⑭ 保育者養成校教員のアイデンティティとキャリア形成を考える

令和元年度
(2019)

- A. 養成校の課題と展望
 - ① 今日求められる保育の質と保育士養成
 - ② 特色ある保育士養成の取り組み
- B. カリキュラムの課題と改善
 - ③ 保育の目的・本質を捉える授業展開 —新指針を踏まえて
 - ④ 学生の子ども理解・保護者理解・地域理解を促す養成のあり方
 - ⑤ 新指針を踏まえた課題（保育の内容・方法系科目）
 - ⑥ 乳幼児期の表現活動がめざすもの
- C. 保育実習の課題および現場との協働
 - ⑦ 保育所実習を通した養成校と保育所との関係性について
—実習先の困り感を糸口に考える—
 - ⑧ 養成校・施設・学生の3者協働による施設保育士養成を考える
- D. 学生支援
 - ⑨ 保育者養成における現場と連携したキャリア支援
 - ⑩ 保育者養成における多様な課題を抱える学生への支援
- E. 保育士養成の今日的課題
 - ⑪ 子ども家庭福祉専門職による子育て支援を考える
 - ⑫ 保育士に求められる被災児支援・防災教育
 - ⑬ 養成校と保育現場のよりよい連携のために（主として新任教員対象）

令和2年度
(2020)

- 1 エビデンスに基づく乳児期の保育の質の向上
- 2 豊かな遊びを支える保育者の養成
- 3 保育内容「表現」の指導法を再考する—「感性」の育成を目指して—
- 4 養成校ネットワークを活用した保育所実習の現状と課題
—岡山県保育実習委員会の取組を中心に—
- 5 家庭的養護のなかでの実習のあり方
—現状と課題から子どもの最善の利益を尊重する実習について考える—
- 6 保育者・子ども・保護者にとっての良い園運営とは
- 7 保育士のワーク・ライフ・バランスと働き方改革
—持続性のある保育士のキャリア支援—
- 8 保育現場における発達障害児への支援
—ノースカロライナ大学 TEACCH 自閉症プログラムから学ぶ—
- 9 保育士に役立つ小児医学の知識
—救急初期対応・子どものワクチン・発達障がい・食物アレルギー —
- 10 妊娠出産からはじまる切れ目のない親子支援のための連携力
—フィンランドのネウボラと早期ダイアログを参照して—
- 11 世界の潮流から考える日本の保育者養成の方向性
—OECD の国際比較調査に着目して—
- 12 保育界の未来を考える
—養成校(者)として保育における「専門性」をどう捉え、それをどう「養成」「育成」するのか—

令和3年度
(2021)

- 1 養成校教職員としての学びの場である研修や情報へのアクセスの保障
- 2 現職者研修における養成校の役割について
- 3 保育内容「健康」の理解と指導法をめぐって～講義と演習～

- －子ども自らが健康で安全な生活をつくり出す力を養う保育の探究－
- 4 保育内容「人間関係」の理解と指導法をめぐって～講義と演習～
- 5 保育内容「言葉」の理解と指導法をめぐって～講義と演習～
－保育現場との協働による保育士としての力量の育成を探る－
- 6 保育内容「表現」の理解と指導法をめぐって～講義と演習～
－「素朴な表現」と「世界を感覚でとらえる」をキーワードに考える－
- 7 乳児保育をめぐって
－コロナ禍における“根っこ”の育ちの保障－
- 8 インクルーシブ保育をめぐって
－「多様性」を保障する保育を考える－
- 9 実習指導の質的向上にかかる保育実践の場と養成校との協働的な取り組みについて
－新たなローカルスタンダードの展開（保育所編）－
- 10 保育現場における「危機管理」をめぐる養成教育の可能性について
- 11 就職活動をめぐる新たな展開
－学生参画による学生支援について－
- 12 コロナ禍を乗り越える養成教育
－感染予防、そして Society5.0 時代に向けて－
- 13 養成校と保育実践の場における保育士養成
－養成校の授業と保育所の保育士養成－

令和4年度
(2022)

- ① 【表現・想像・創造】感性を育む世界 ～絵本を考える～
- ② 一人ひとりを大切にする保育とは ～基調講演を受けて～
- ③ 保育士養成倫理綱領をめぐる現状と課題
- ④ 自然のなかでの学び ～命を感じる保育～
- ⑤ 保育者養成校と保育現場の協働
～保育現場との協働から保育士養成の可能性を探る～
- ⑥ 養成校の学びの質について
- ⑦ 実習指導における今日的な課題
～参加者とのディスカッションを通して～
- ⑧ 行政・保育所・養成校、それぞれの立場で保育士の養成と確保を考察する
～旭川市を事例として～
- ⑨ 新任教員の課題 ～新任教員を支える組織（教員集団）とは～
- ⑩ 施設実習（児童養護施設）を通じた、保育士養成の現状と今後の課題を考察する
- ⑪ コロナ禍の学生支援 一実習・就職活動を中心に一
社会へ送り出す養成校の支援と、受け入れる保育現場の体制
- ⑫ 海外保育施設における ICT 関連事情
ニュージーランド、日本の事例から

令和5年度
(2023)

- ① 保育の質を保障するために養成校で考えたいこと
- ② 保育現場と保育者養成の ICT 活用事例
- ③ 保育の質の向上を目指した養成校と保育現場のつながり
- ④ 作物の栽培を養成校の授業でいかに扱うか
- ⑤ 保育における表現を考える
- ⑥ 学生が自分事として考える授業「障害児保育」「社会的養護」の展開
- ⑦ 実習指導者認定講習と保育実習指導の実践について
- ⑧ 施設実習における実習指導のあり方と実習施設との連携について
- ⑨ 被災・復興の中での遊びの保障
- ⑩ 保育職への就職促進と早期離職を防止するためのキャリア支援
- ⑪ 保育所・施設における危機管理
- ⑫ 新任教員時代に知っておきたい保育者養成教育の現在

令和6年度
(2024)

- ① 「子育て支援」～心理、保育、福祉を総合した学び
- ② 保育内容「表現」の指導法の再考～感性の育成を目指す
- ③ 「子どもの食と栄養」～保育所の食育の実践と養成教育

- ④ 実習訪問を通じた学生の成長支援～現場とともに保育士を育てる
- ⑤ 保育職の魅力を伝える～表現を通じたキャリア形成
- ⑥ 多様な学生への支援～インクルーシブな社会像を見据えて
- ⑦ インクルーシブ保育～人・社会の多様性を保障する保育士
- ⑧ 保育現場における危機管理～子どもの権利と地域社会を守る
- ⑨ 保育所保育における ICT 化～情報化によるコミュニケーションの可能性
- ⑩ 保育士の階層化・高度化～養成校の将来像
- ⑪ オンライン授業と保育士養成～ ICT を活用した授業
- ⑫ 養成校教職員の質向上～授業改善等の FD、研修・研究の保障